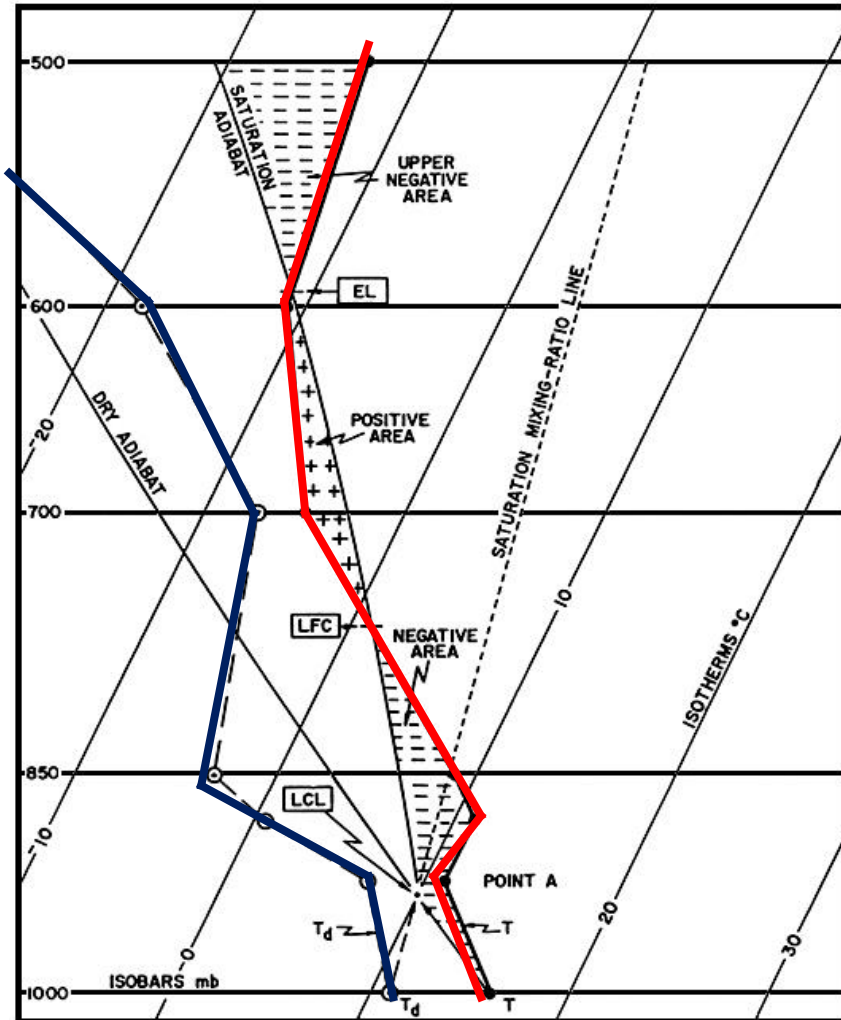


エマグラム



LCL: 持ち上げ凝結高度

LFC: 自由対流高度

の間は、**CIN**

LFC: 自由対流高度

LNB: 浮力がなくなる高度

の間は、**CAPE**

降水の役割

- ・雲物理過程のうち、水蒸気 \leftrightarrow 雲水だけをもつ物理では、上昇流域と下降流域での構造は同じであり、対流セルはベナールセルのように縦横比1の対流が実現する。
- ・降水を含む物理では、極端な言い方をすると、上流流域では不安定成層、下降流域では安定成層ということになり、対流セルの水平構造は非一様となる。
- ・これから、**降水(雨)があるおかげで、水平に非一様な構造**がとれる。
- ・雲：凝結過程で凝結熱が発生して、積乱雲の爆発のもとになる。
- ・雨：積乱雲は寿命のあるものにして、水平に孤立した構造をとる。もし周りに新たな収束を作るようであれば、次々と積乱雲ができる → 積乱雲群（メソ対流系の発生）